

神資研の望む県立川崎図書館像（素案）

コンセプト：「さらに進化した科学と産業の情報ライブラリー」

<蔵書>（モノと電子）

●科学・産業系資料の充実（モノ）

現在のコレクションを分散させること無く維持した上で一層充実させ、関東圏における科学技術情報へのアクセス拠点となる。（国会図書館の科学技術情報は主に関西館が所蔵）

- ・ 専門雑誌・技報・専門書籍・規格類・海外規格のさらなる充実
- ・ 社史（含む団体史・組合史）の一層の収集
- ・ 科学技術系外国語雑誌デポジットライブラリーの充実
会員機関からの寄贈を一層拡大する

●電子情報へのアクセス（電子）

- ・ 電子書籍の導入
- ・ 電子ジャーナルの導入
- ・ データベース提供のさらなる充実
STN などの海外文献データベース

●特許情報のさらなる充実（電子）

- ・ 外国特許へのアクセス（商用データベース）
- ・ 特許解析ツール・特許 MAP 作成支援

<サービス>

●所蔵資料を活用した企画展示のさらなる活発化

社史フェア

「川崎公害裁判訴訟記録」等のコレクションを活用した企画

●サイエンスカフェ等各種講演会の継続

●図書館ホームページを活用した情報発信の強化

- ・ SNS（Twitter、Facebook など）の活用
- ・ オリジナルコンテンツ

●創業・経営相談、発明相談の継続

- ・ 県の産業振興施策との連携強化

●遠隔利用の充実

- ・ 在宅複写サービス・郵送貸出サービスの利用促進
神資研向け団体貸出の維持
- ・ データベースの遠隔からのアクセス
- ・ 電子書籍の貸出（OPAC 経由）
- ・ 電子ジャーナルの遠隔からのアクセス

<運営面・立地面>

●神奈川県立図書館と独立した運営の維持

●神奈川県と川崎市とで協議の上で、現在の資料を維持・発展させることのできる十分なスペースの確保

●県の産業政策との連携強化

（以上）